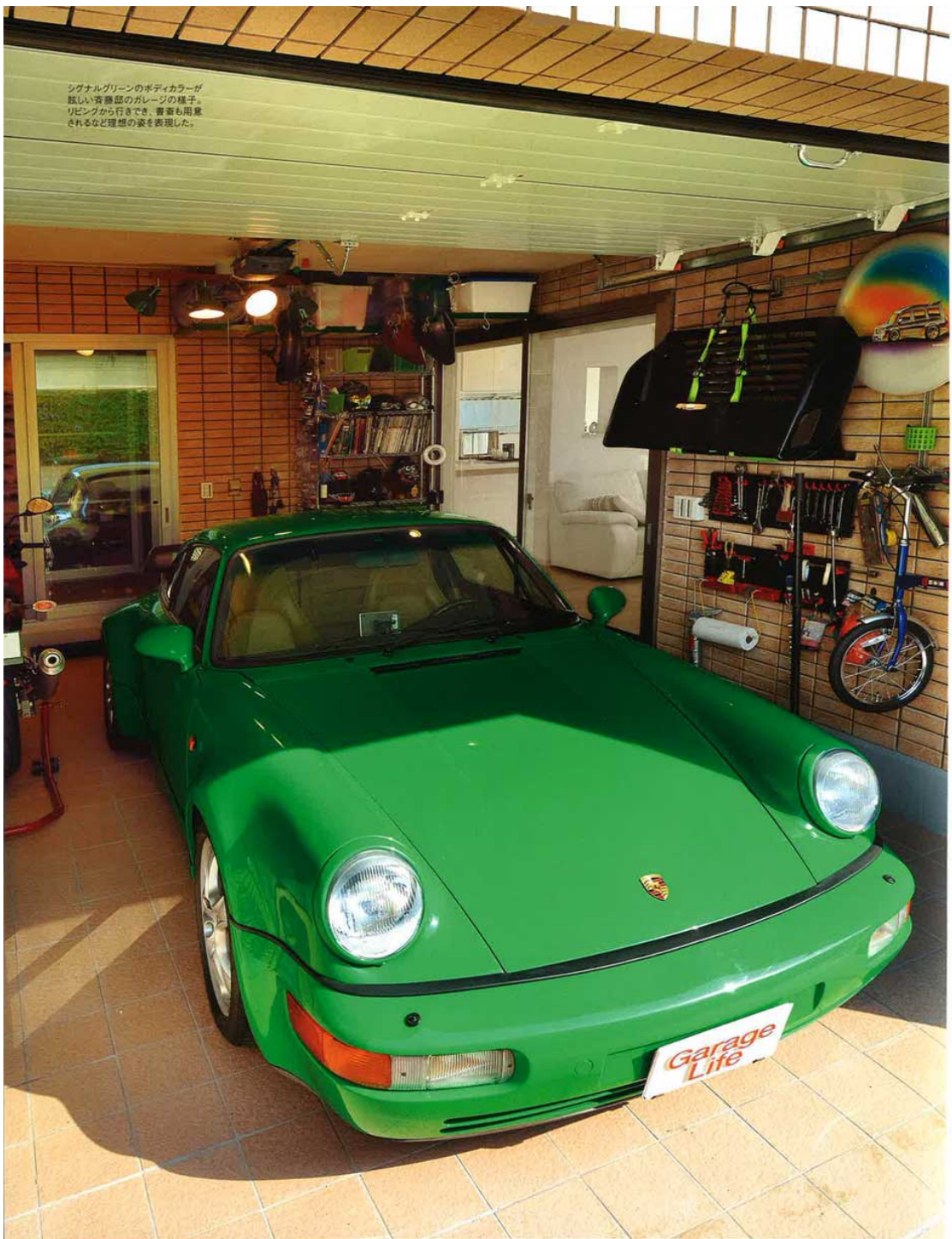


シグナルグリーンのポルシェカウチが
 欲しいお客様が、このガレージの様子。
 リビングから行き、書斎も用意
 されるなど理想の家を表現した。



どうしてもクルマのエンジンを
 暖気するときに必要だったと
 EG WayOutの標準のシステ
 ムを導入した斉藤さん。換気扇
 も2機用意しておいたが、EG
 WayOutの効果は絶大。

閑静な住宅街のなかに、ひときわ大きなRC 道の
 ガレージハウスが登場する。「レムコ」メタルフラット
 ドアを開けると、ポルシェの純正色・シグナルグリーンの
 ポルシェ 964 ターボ、通称カレラ2が登場する。
 会社員の斉藤さんが、日曜日にドライブするための
 愛車であり、ガレージのなかで安全に管理しておき
 たいという名車は、空冷エンジンを搭載した最終モ
 デルでありかなり人気のあるエンスーモデルともい
 われる名車だ。
 ガレージハウスを建てる前は、テント式のカバーを

かけてクルマを保管していたが、年に数回の台風や、
 雪で壊れてしまう経験や、クルマの出し入れのときに
 すべて手動にてクルマを出し入れをするなどの面倒な
 作業が多かったため、建て替えた場合には電動式ガ
 レージドアを持ったガレージハウスを建てたいと考えて
 いた。さらに震災による防災のことも気になった斉藤
 夫妻は、近くの住宅展示場を見て歩き5～6社のガ
 レージハウスの見積りもりのなから、自分の希望に
 沿った提案をしてくれた「レスコハウス」にて建てよう
 と決意した。2011年秋のことだったという。

07 念願のガレージハウスに、 排気ダクトシステムを導入。

GARAGE LIFE EXAMPLE 千葉県 斉藤邸

国道に面しているながらも便利な宅地が広がる千葉県花見川区。
 閑静な住宅街に建てられたガレージハウスの主は斉藤誠さん。
 最終の空冷ポルシェを大事に乗るためにガレージハウスを決意し、
 リビングから見える空間を手に入れた。

text/ Jun-ISHIHARA (石原 淳) photo/Masaya-ABE (阿部昌也)
 special thanks to SAFTY LIFE

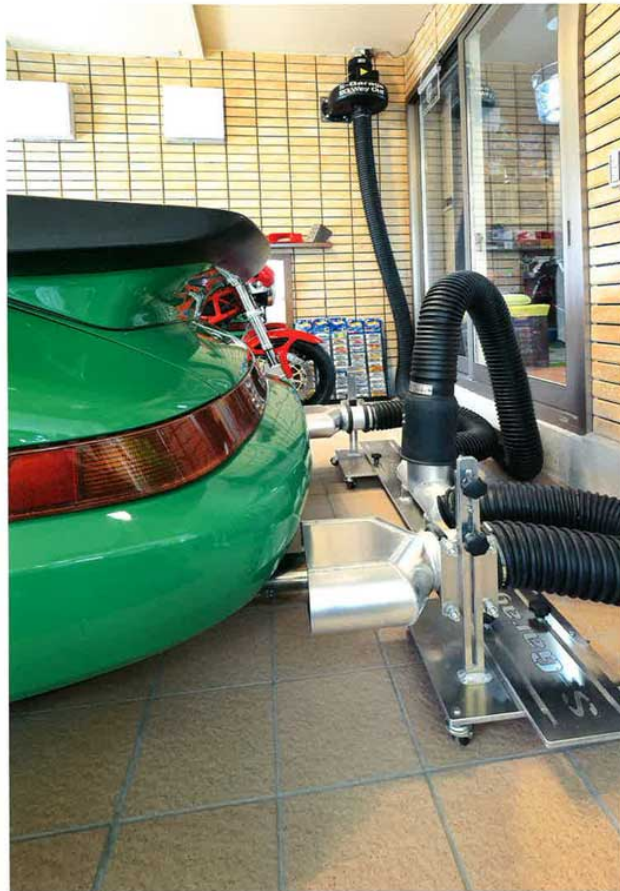


07

リビングからクルマが見える、
希望をかなえた住宅メーカー。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF SAITO

標準タイプのモーターにより排気ガスを強制的に吸い込み、右の写真のようにベントキャップの取り付けにより屋外にガスを送り出す。



効率的な場所にモーターを設置できたことで、ダクトホース、モーターはすべて標準仕様でしたとは斉藤さん。取り付けも施工会社に可能とか。



ホワイトの壁面、家具でまとめられたリビングにグリーンのボルシェが家具のような存在と話すのはオーナーの斉藤さん。来客に応じて、ロールスクリーンにてガレージを隠すことも可能だ。

「レスコハウス」は今までにガレージハウスを手がけた経験も豊富なおえ、斉藤さん夫妻が気に入っている自然災害に強いPCパネル工法を得意とした住宅メーカー。PCパネルは硬く強く、劣化と火に強いなど理想的な建材で、パネル工法によって施工するもの。木造と比較すると劣化などが少なく、夏に涼しく、冬に暖かな断熱性を実現。遮音性にも優れているためにクルマの騒音をガレージにするには最適と判断したそうだ。たしかに空冷エンジンのボルシェは走行前に暖気運転が必要不可欠であり、音の問題も斉藤さんは視野に入れていた。

また、どうしても必要だったのが室内に排気ガスがなるべく入らない排気システム「EG Way Out」だ。メーカーによって大きめの換気扇を壁面に2コ設置したが、マフラーから直接、強制的に排気ガスを吸い込み、ガレージの外に送り出すシステムにより極力ガレージ内、そしてリビングに排気ガスが充満することを少なくするためのシステムを導入を希望。昨年のガレージングEXPOにて実物を見て性能を

確認し、すぐに導入することを決意したという。導入によって「エンジンから排出されるガスは強制的に屋外に出るためリビングへの侵入なくなりました」とは斉藤さん。ガレージドアも遮音性、防火性の高い「レムコ」製メタフラットドアを採用するなどメーカーにリクエストを出して採用してもらった。ガレージ内のタイルは家の父親の本職であり、ガレージハウスを引き渡し後にタイルを施工。床面もモルタル施工の上に斉藤さんが丁寧に張っていったそうだ。

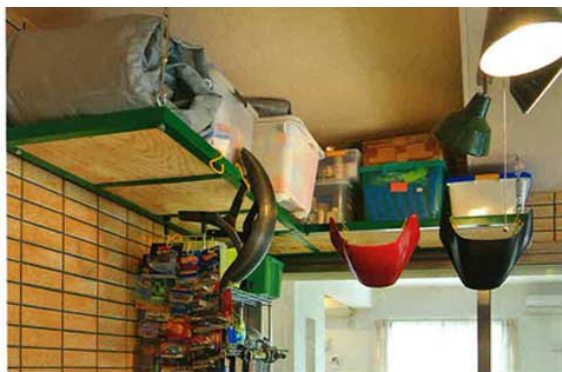


今まではモノで埋れていたリビング、キッチンを防犯のためにあらかじめ収納家具を設置してシンプルにしていることが分かる。キッチンも人工大理石によるアイランド型を導入した。





5人家族で暮らす斉藤誠さんと奥様の恭美さん。ドゥカティは奥様がドライブするための愛車。将来は2人でツーリングの予定だ。



ホームセンターで販売しているものを使って、ガレージ上部に棚を設置。これはガレージの工事をする前に依頼してアンカーボルトを打ち込んで天井を強化している。



ガレージの壁面は斉藤さんのアイデアによるもの。レンガタイルを貼った柱を自を利用して鉄や工具を収納するスペースを確保。ガレージを広く、効率よく使えるようにしている。

現在は、2005年モデルのドゥカティがガレージに入るが、このオートバイは奥様のもの。撮影時には免許の取得中だったが将来は、夫婦2人でツーリングに行く予定だ。ガレージ横の書斎にはご主人の好きなものを並べるショーケースを設置。並べられないものは少しずつ処分していく予定だ。ガレージができたことでクルマ、オートバイのセキュリティの心配がなくなったほか出し入れの利便性が上がったのが最大のメリットという。ガレージハウスにこだわりのガレージドア。排気システムを導入して機能性を上げた斉藤邸。「リビングからの愛車の眺めは最高」と語るように、目を揃すごとに家族のなかでガレージのある生活の豊かさを実感している斉藤夫妻だ。

07 PLANNING DATA & MATERIALS

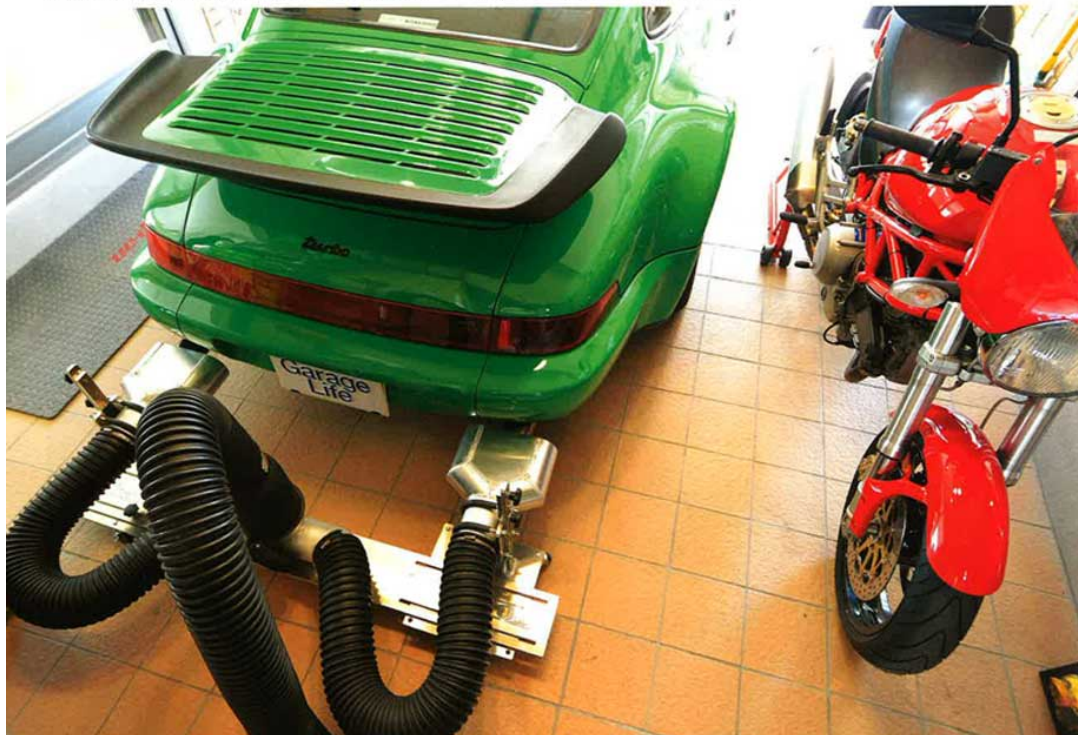
ご主人のボルシェと奥様のドゥカティ。
2台が収まる6輪生活。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF SAITO



書斎に并べられたのはIKEAで販売しているライトをオーナー自身が加工して自作したもの。ライトのまわりにはコレクションしたミニカーでいっぱい。

EG WAYOUT はマフラーエンドに合わせてアジャスターにより傾斜の変更が可能。クルマが変わっても対応できるのも魅力的な要因の1つだ。



上/ライトもボディカラーに合わせてグリーン系の白熱球を設置。用途に応じて角度を変えられるなど、臨機応変にできるようになっている。
中/換気前は空気をアウトするため、空気をインさせるための2機を設置。当初は換気扇で排気ガスに対応していたが、本格的なシステムの導入に踏み切った。
下/「レムコ」製メタルフラットドアのガレージドアと合わせて、玄関ドアと門扉を設定。スタイリッシュな外観となった。

P PLANNING DATA
所在地 千葉県
施主 斉藤誠さん
竣工 2012年11月
構造 鉄骨RC2階建て
敷地面積 約50坪
ガレージ面積 約22㎡
愛車 1991年ボルシェ964ターボ
2005年ドゥカティ 他2台

O OWNER'S CHECK
■一番気に入っているところは？
リビングから好きな愛車を眺めることができると、排気ダクトシステムがカッコいい。
■ちょっと失敗したところは？
ガレージをもっと大きく設計すればよかった
■次の夢はなんですか？
オートバイをもう1台追加して、2人夫婦でツーリング。

C COMMENT FROM A BUILDER
株式会社セーフティライフ
長谷川 誠さん

斉藤邸は、昨年のガレージングEXPOにてオーダー頂いた後、何度かお伺いさせて頂きお互いに納得いくまで打合せをさせていただきました。とにかく斉藤様の細かい工夫には驚かされるばかりで、施工のお話など盛り上がりすぎてつい時間をお忘れしてしまっ。そんな素敵なガレージのお手伝いさせて頂きまして、ありがとうございました。夢がたくさん詰まった書斎はもちろん、真っ白なリビングルームから眺め5964ターボとEG WayOutの相合せは最高ですね。

書斎の壁面にあらかじめ設置したのはミニカーを収納する書棚。工務店によるお見積り壁紙をオーダーし、懸せる工夫を考案した。

